



## 第1回公開研究授業を開催しました

本校では、全教科で「TOWA7」という学習を進めていることを東和便り第4号でお伝えしました。本校の教職員は、「自立し、共同体感覚を持った生徒」というめざす生徒像の実現に向け、みんなで「自立を促し、共同体感覚を育む教師」となることをめざしています。本校の生徒には、未来を生き抜く力を身につけてほしい、その思いから、日々、教職員みんなで学び続けています。

そんな中、5月16日(月)には、今年度第1回目となる公開研究授業を実施しました。他校の先生方や市教育委員会の方々を含む多くの先生方が、2年3組のみなさんの学ぶ姿から、たくさんの学びを得ました。授業は、山本翔先生が担当する数学で、文字式を利用する学習でした。



集中して学びに向かう2年3組

何とか解決しようとするなど、粘り強く取り組む姿が見えた」「問題を解くにあたって、わからなかったり困ったりした生徒が、グループの仲間に訊(き)けるように、私たち教師はどんな支援ができるだろう」など、教員間で学び合いました。

2年3組生徒の、チャイムとともに挨拶し着席とともに瞬時に学習に向かう姿は見事でした。授業後には、先生方で研究協議会を行い、「生徒は、出された課題に対し、教科書に戻りながら

TOWA7は、誰の考えも、うまくいかないことも、素晴らしいと受けとめ合い、一人一人のつぶやきや沈黙にも耳を傾けます。聴き合う関わりの中で、しっとりとした空気がかもし出され、一人一人の息づかいがアンサンブルを奏でる教室をめざします。やわらかな声が、学び合い、探求し合う学校をつくります。東和中学校は、生徒が学び育ち合うとともに、教師も学び育ち合います。学びとは、新しい世界との出会い、自分と仲間と先生と教科書やワークシートとの出会いと対話です。うまくいかないことを大切にしながら、背を伸ばしジャンプするのは、生徒だけではありません。生徒と教材に誠実に向き合いながら、互いに支え合いながら、本校教職員は学び続けます。



学び合う先生たち

## 生徒の活躍を報告します

5月14日(土)、紀の川市民体育館において、全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会和歌山県選手選考会が行われました。中学生男子では、楠恵一郎さんが優勝、横田宗汰さんが敢闘賞、中学生女子では、中阪花穂さんが優勝、杉山菜椰さんが準優勝、池田爽笑さんと川井真奈さんが敢闘賞でした。その結果、楠さん、中阪さん、杉山さんが中学生の部の代表選手に選考され、9月18日(日)に、おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)で開催される全日本大会に出場することとなりました。

同日、紀三井寺公園テニスコートにおいて、和歌山市中学生ソフトテニス2年生大会が行われ、男子の内藤涼・平田暖ペアが優勝しました。素晴らしい結果はもちろん、日々の努力に敬意を払いたいです。